

11月17日 厚労省
2012年11月17日
copy 済

健康増進課

政 1573

外務大臣 殿

保健社会部長官との会談

11月10日、本使 金泰東^{新任}保健社会部長官
を礼訪した際、医療協力問題、及び遺骨
問題につき要旨次のとおり会談したので、
即報告す。

1. 医療協力問題

金長官より、日本からはかねてより医療協
力の分野で種々有益な協力を得ており、
次のおり述べた。



とくにガシ対策及び衛生虫対策ではそれぞれ
私的機関を通じてではあまが大きな貢献
となつてあり、感謝してゐる次第である。

今後の医療協力の対象としては、結核対
策等も検討されてゐる由であまが、^{この際}韓国政
府として最も強く希望したものの一つは、
韓国各地の道立病院の近代化の問題
がある。道立病院は日本が建てたもので
あまが老朽化し、~~荒廃してしまつてしま~~
⇒状態となつてゐるため、韓国政府としては
これを改築したいと考へてゐる次第であり、
医療協力の一環として、これに対する医療器
具の供与を行つてゐたゞければ幸甚であらう。
もとより各道のものを一挙に、というよりはま
く、韓米側の病院改築計画^にともなひ、年

次計画的に順次を順いでいければ有難い。
これらの病院が各道で整備されれば、庶
民とのつながりも深い^でとあり、両国関係
のためにも効果は大まいと思われぬ。

これに対し本使より、医療協力の資金は
限られているので、あまり大規模な計画はあ
りかたしいと思ふが、折角の新長官のお申出
であるので、よく検討して見ようと思つて
おいた。

ろ. 遺骨問題

本使より、日韓間の遺骨の問題に就き、
韓米側はかね^{より}日本の学生者に帰省してく
いる韓子人遺骨の一括返還を求めているが、
日本側としては北との関係もあり慎重な
態度をとつて来ている。しかし乍ら、韓国内

にある日本人の遺骨は、問題のないものであるから、両者を ~~相互主義~~ のいっかげいぶう
なことをせよ。解決を促進して欲しい。機会
があれば、閣議にもでも持ち出していただけ
ればありがたい。と述べたところ、先方は、
事件を十分承知していない様子であったが、
日本側が一括返還に慎重^になると
得ないのは、法的にはよく理解でき
る。事件をどの部署で処理しているか
知らないのび、早速調べた上で、早急にこれ
が解決と見るよう努力し ~~たい~~ たいと答えた。